

湿度の条件の値も参考として示す。FRM 2000D 及び S/SASS サンプラともに、傾き、切片及び相関係数のいずれも JIS の規定を満たしていた。以上のことから、FRM 2000D 及び S/SASS はそれぞれ使用目的が異なるサンプラではあるが、質量濃度測定に用いる場合は標準測定法とほぼ同等のサンプリング性能が得られることが分かった。ただし、両サンプラとも 1 台による結果であることに留意が必要である。

表 3-2 JIS によるサンプラの性能試験結果

	FRM 2000D		S/SASS	
	FRM (秤量湿度 50 %)	参考 FRM (秤量湿度 35 %)	FRM (秤量湿度 50 %)	参考 FRM (秤量湿度 35 %)
対象期間の全データ数	58	58	58	58
有効データ数	54	51	54	51
棄却データ数	4	7	4	7
20 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下の数	33	34	3	34
40 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以上の数	5	2	5	2
相関係数 (0.97 以上)	0.99 ○	0.99	0.98 ○	0.98
切片 ($\pm 2 \mu\text{g}/\text{m}^3$)	1 ○	1	1 ○	1
勾配 (1 ± 0.1)	1.0 ○	1.0	1.1 ○	1.1

注) ○ : JIS Z 8851 に適合

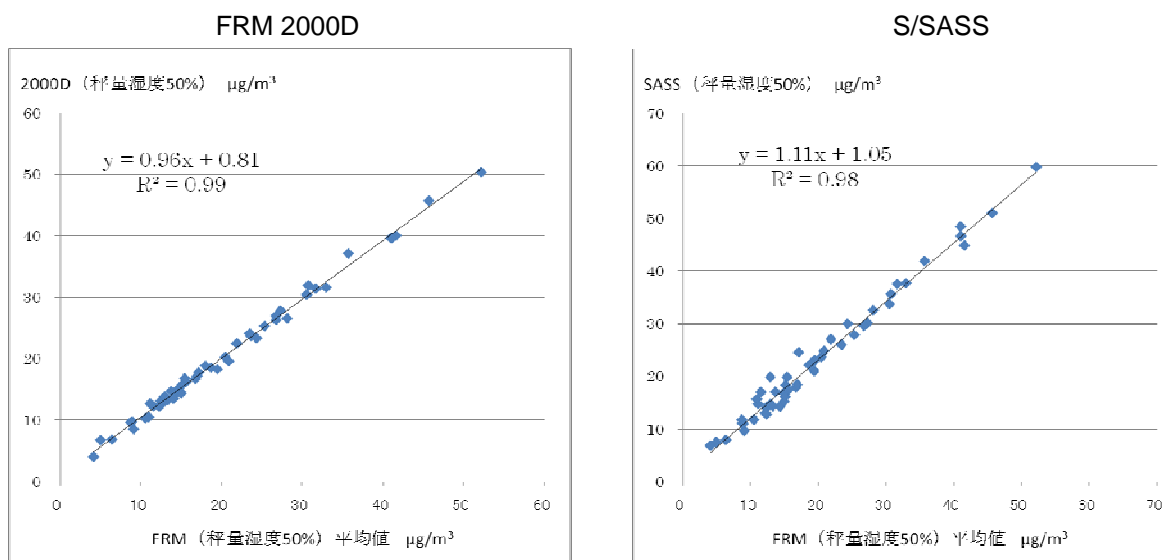


図 3-6 (1) 秤量湿度 $50\pm 5\%$ における JIS によるデータ棄却後の FRM 2000 と FRM 2000D (左) 及び S/SASS (右) の相関

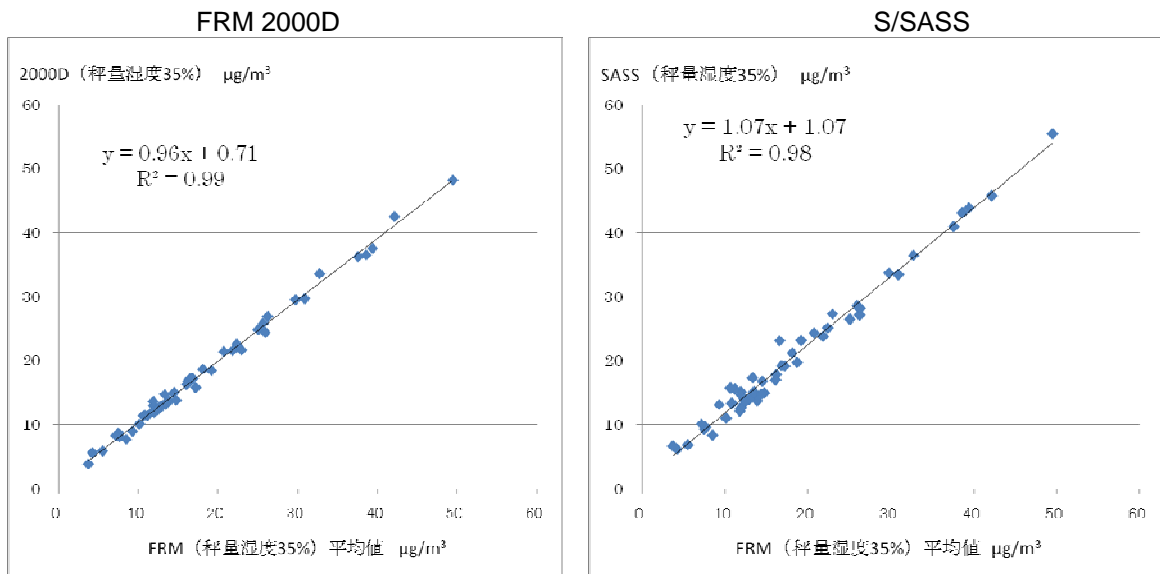


図 3-6 (2) 秤量湿度 35±5 %における JIS によるデータ棄却後の FRM 2000 と FRM 2000D (左) 及び S/SASS (右) の相関 (参考)